

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。まわりに登録されていない方がおられましたら、ぜひ登録をお勧めください。

登録先は、<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html> をご覧ください。

【病害虫発生予報の発表について】

【施策情報】

☆今年も優良なそば生産農家・集団を表彰します！

☆農林漁業バイオ燃料法に基づく支援措置について

☆「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」（第12回選定）の公募を開始しました！

☆日本で初めて、バイオ炭の農業利用に関する体系的なガイドブックを公開

☆「日本茶海外輸出に資する緑茶用新品種『せいめい』 栽培・加工技術標準作業手順書『鹿児島県版』」を公開

☆「子実トウモロコシ生産・利活用の手引き(都府県向け)第2版」を公開

☆〈みどり戦略技術紹介〉 ウリ類退緑黄化ウイルス（CCYV）の簡易検査キットの開発

++・…… 病害虫発生予報の発表について ……・++

◆「令和7年度 病害虫発生予報第3号」(令和7年6月11日(水)付け)を発表しました。

【消費・安全局 植物防疫課】

農林水産省は、今後の農作物の病虫害発生動向や防除について「病虫害発生予報第3号」を発表しました。

普及指導員の皆様におかれましては、病虫害防除所等と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

○今後発生量が多くなると予想される主要な病害虫及び地域

- ・ 水稻のイネミズゾウムシ：北陸の一部の地域
- ・ 麦の赤かび病：関東、甲信及び東海の一部の地域

- ・ばれいしょのアブラムシ類：北海道の一部の地域
- ・果樹カメムシ類：北東北、南関東及び東海の一部の地域

この他、オオタバコガ等、地域によっては多くなると予想されている病害虫があるので注意してください。

▼詳細はこちら

- ・都道府県の発表する病害虫発生予察情報と併せてご利用ください。

○「令和7年度 病害虫発生予報第3号」の発表について（令和7年6月11日付け農林水産省プレスリリース）

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/250611.html>

○都道府県の病害虫発生予察情報など

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課

（担当：岡田、城野、古澤）（03-3502-3382）

++・…… 施策情報 ……・++

=====

◆今年も優良なそば生産農家・集団を表彰します！

【農産局 地域作物課】

=====

一般社団法人日本蕎麦協会は、毎年、優良なそば生産農家・集団を表彰しており、本年は、令和7年10月31日（金）を期限に募集を行っています。

この「全国そば優良生産表彰事業」は、そばの生産技術の向上や経営改善、安定的な出荷販売のほか、加工品の販売により付加価値を向上させる取組など、全国の模範となるそば生産農家・集団を表彰し、これらの技術や取組を全国に普及することを目的に、平成元年度から実施しているものです。

普及指導員の皆様におかれましては、優良生産農家・集団の積極的な推薦・応募にご協力いただきますようお願いいたします。

▼詳細はこちら

○全国そば優良生産表彰事業の概要（外部リンク）

<http://nihon-soba-kyokai.or.jp/208402226912381124002077833391299832998734920244322010726989.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 地域作物課

（担当：五十嵐、石川、永井）（03-6744-2115）

=====

◆農林漁業バイオ燃料法に基づく支援措置について

【大臣官房 環境バイオマス政策課 バイオG】

=====

農林水産省では、農林漁業バイオ燃料法により、ソルガムといった資源作物等を生産する農林漁業者とバイオ燃料製造業者の連携によるバイオ燃料製造や、バイオ燃料の原材料生産等の研究・開発に対する支援を通じた、バイオマス資源のバイオ燃料への原料利用を促進しています。

例えば、農林漁業者等とバイオ燃料製造業者が連携してバイオ燃料製造に取り組む生産製造連携事業計画の認定を受けた場合、固定資産税の課税標準額の減免や無利子の農業改良資金など、様々な支援措置がありますので、バイオ燃料の製造等をご検討される際には本認定制度の活用もあわせてご検討ください。

普及指導員の皆様におかれましても、現場への案内等のご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

▼詳細はこちら

○農林漁業バイオ燃料法関連情報

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/bio/nenryoho/>

○農林漁業バイオ燃料法パンフレット

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/bio/nenryoho/attach/pdf/index-50.pdf>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 環境バイオマス政策課

(担当：田島、関本、西村) (03-6738-6478)

=====

◆「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」（第12回選定）の公募を開始しました！

【農村振興局 農村計画課】

=====

農林水産省では、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝アワード」と称し、農山漁村の地域資源を活用した地域の活性化や所得向上に向けた取組を幅広く募集しています。

(募集期間：6月2日（月）～8月12日（火）)

ご応募頂いた中から特に優れた取組については選定証の授与や、特設 Web サイト (<https://www.discovermuranotakara.com/>) への掲載、交流会の開催などを通じて全国に広く発信していきます。

あなたの“農山漁村（むら）の宝”を教えてください！

自薦他薦問いませんので、普及指導員の皆様におかれましても、自らの取組や身の回りの優れた取組のご応募をお待ちしております！

▼詳細はこちら

第12回選定応募ページ（特設 Web サイト）

<https://www.discovermuranotakara.com/sentei/>
プレスリリース

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/nousei/250602.html>

総理官邸で行われた交流会の様子（令和6年度）

<https://www.kantei.go.jp/jp/103/actions/202501/07mura.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 農村計画課 農村活性化推進室

（担当：浅野、児嶋、田中）（03—3502—6001）

=====

◆日本で初めて、バイオ炭の農業利用に関する体系的なガイドブックを公開

【農林水産技術会議事務局 研究企画課、農研機構】

=====

農研機構、福井県、立命館大学などから構成される「脱炭素に向けた農林業環境研究コンソーシアム」は、農林水産省委託プロジェクト研究において、日本で初めて、バイオ炭の農業利用に関して体系的にまとめた「バイオ炭の農業利用事例とその活用ガイドブック」を作成し、公開しました。

バイオ炭への理解とその農地施用を促進して、日本の温室効果ガス（Greenhouse Gas、GHG）排出量の削減に貢献します。写真や図表を用いつつ、多くの利用事

例を紹介しており、農業、企業、行政関係者、一般の方にも理解しやすい内容です。

普及指導員の皆様におかれましては、本ガイドブックの活用をご検討いただき、現場でのご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら（外部リンク）

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/niaes/169191.html

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

（担当：吉田、井戸原、高橋）（03—3502—7407）

=====

◆「日本茶海外輸出に資する緑茶用新品種『せいめい』栽培・加工技術標準作業手順書『鹿児島県版』」を公開

【農林水産技術会議事務局 研究企画課、農研機構】

=====

農研機構は「日本茶海外輸出に資する緑茶用新品種『せいめい』栽培・加工技術標準作業手順書『鹿児島県版』」を5月13日に公開しました。

鹿児島県と農研機構は2022年に農業分野における連携協定を締結し、「せいめい」の普及ならびに栽培・加工技術の共同研究に取り組みました。

本手順書では、連携協定の研究成果に基づき、鹿児島県での「せいめい」の栽培法および各種茶種への加工法の留意点等をわかりやすく解説しています。

普及指導員の皆様におかれましては、本手順書の活用をご検討いただき、現場でのご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら（外部リンク）

<https://sop.naro.go.jp/document/detail/181>

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

（担当：吉田、井戸原、高橋）（０３－３５０２－７４０７）

=====

◆「子実トウモロコシ生産・利活用の手引き（都府県向け）第２版」を公開

【農林水産技術会議事務局 研究企画課、農研機構】

=====

農研機構は「子実トウモロコシ生産・利活用の手引き（都府県向け）第２版」および「要約版」をウェブサイトで公開しました。

2019年に公開した第１版を基に新たな研究成果や知見を結集して、全面的に改訂したものです。

子実トウモロコシの生産から利用に至るまで一連の技術情報が体系的に整理されていますので、研修会や講習会でのテキストなどにも利用できます。

普及指導員の皆様におかれましては、本手引きの活用をご検討いただき、現場でのご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら（外部リンク）

https://www.naro.go.jp/publicity_report/press/laboratory/nilgs/168833.html

※お問い合わせ先

農研機構お問い合わせフォーム

<https://www.naro.go.jp/inquiry/index.html>

農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課

（担当：吉田、井戸原、高橋）（０３－３５０２－７４０７）

=====

◆〈みどり戦略技術紹介〉 ウリ類退緑黄化ウイルス（CCYV）の簡易検査キットの開発

【大臣官房政策課 技術政策室】

=====

「みどり戦略技術紹介」では、毎月、環境負荷の低減に取り組む農業者の皆様に関与する技術をご紹介します。

今回は、ウリ類退緑黄化ウイルス（CCYV）の簡易検査キットの開発についてです。

CCYV による退緑黄化病は、早期に診断し対策する必要がありますが、発生初期は、生理障害との区別が困難です。

開発された検査キットは、専門的な機器や試薬は不要です。所要時間 30 分で、誰でもどこでも、迅速に CCYV 感染の有無を判定できるので、判定後、速やかに適切なウイルス病対策を行えるようになります。さらに不必要な農薬の使用を回避し、発病株を除去できるため、キュウリやメロンなどウリ類の安定した生産に貢献することができます。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

普及指導員の皆様におかれましては、本技術をはじめ、カタログに掲載されている技術の活用をご検討いただき、生産現場で広く活用されるようご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版:畑作) (PDF:5,094KB) p.14
ウリ類退緑黄化ウイルス (CCYV) の簡易検査キットの開発

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/02_midori_catalog5_crop.pdf#page=14

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房政策課 技術政策室

(担当：中野、小松崎) (0 3 - 3 5 0 2 - 3 1 6 2)

※メルマガの配信登録はこちら

<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

※バックナンバーはこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

※PDF形式のファイルの閲覧について

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧いただくためには農林水産省ホームページ

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

「3 PDFファイルについて」をご覧ください、「Get Adobe Reader」

のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。